

平成 30 年度 神奈川県商店街実態調査報告書 概要版

公益社団法人 商連かながわ

1. 調査の目的

本調査は、神奈川県内の商店街を取り巻く様々な環境の中で、商店街の加入状況、景況感等の状況並びに商店街の活性化活動の状況を把握し、その実態を明らかにすることにより、神奈川県内の商店街の将来への展望と活性化への方策などを検討するために実施するものです。

今年度は、神奈川県商店街活性化条例に関する認知度等や商店街への加入依頼活動、さらに商店街の共同施設と活動の課題についても調査を実施しました。

2. 調査概要

(1) 調査対象

- ・調査対象：①(公社)商連かながわ加入の商店街 (593 商店街)
②(公社)商連かながわ未加入の商店街(104 商店街) 合計 697 商店街
- ・回収数:330 票(回収率 47.3%)

(2) 調査方法・期間

- ・郵送、または FAX による発送、回収
- ・調査期間:平成 30 年 5 月 8 日～平成 30 年 5 月 31 日

(3) 集計方法

- ①複数回答における構成比の母数は原則サンプル数(回収数)330 票になっています。
(複数回答の設問では、その事がわかるように各表の下欄外に回答数のほかに括弧書きで、標本数を”n=”と併記しています。)
- ②神奈川県内を以下のように7つの地区に分類し、集計しています。

(4) 表記

- ・図表の構成比(%)は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはなりません。
- ・該当する数値が存在しない場合には「—」で表示しました。
- ・商店街組織には商店会や商店街などがありますが、この報告書では商店街という表記で統一しています。

地区名	対象市区町村
横浜地区(横浜市)	鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区、保土ヶ谷区、磯子区、金沢区、港北区、戸塚区、港南区、旭区、緑区、瀬谷区、栄区、泉区、青葉区、都筑区
川崎地区(川崎市)	川崎区、幸区、中原区、高津区、多摩区、宮前区、麻生区
横須賀・三浦地区	横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町
県央地区	相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村
湘南地区	平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町
西部地区	小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町
その他	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町

※商連かながわのWEBサイトには、本報告書の全文を掲載しています(全 44 ページ)

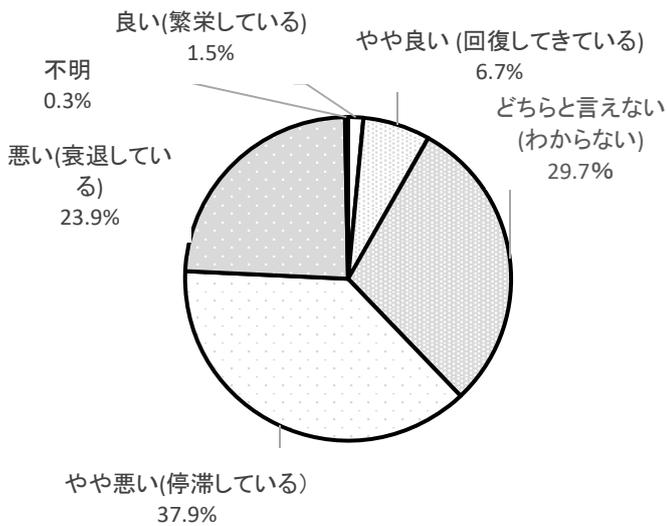
3. 結果概要

(1) 商店街の景況感

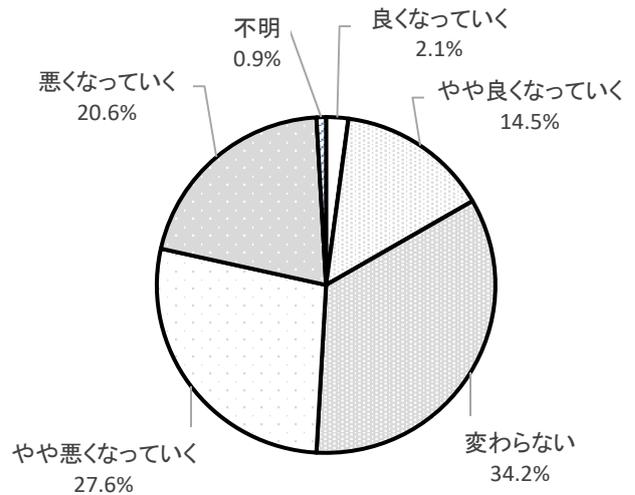
【景況感は平成 28 年調査に比べて地区別に“良い悪い”が鮮明に】

- ・景況感を地区別で見ると、比較的良いのは「川崎地区」と「横須賀・三浦地区」（「良い」+「やや良い」がそれぞれ 16.6%と 16.7%）、それからサンプル数は少ないが「西部地区」（同 30%）、次いで「横浜地区」（同 6.9%）、あまり良くないのが「湘南地区（同 3.3%）」と「県央地区（同 2.2%）」でした。
- ・今後の活性化の見通しについては、景況感と同じように“良い悪い”の明暗が地区ではっきりしてきています。

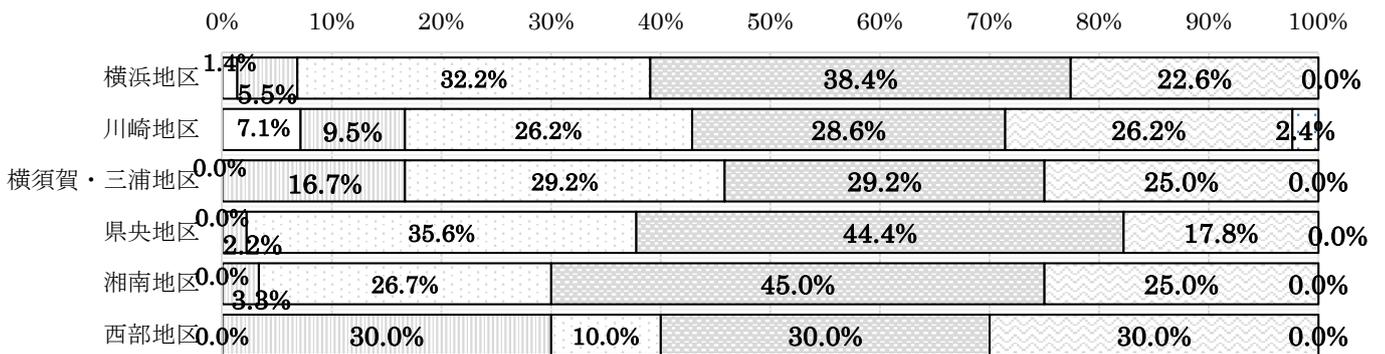
【図表 1】 商店街の景況感



【図表 2】 今後の活性化の見通し

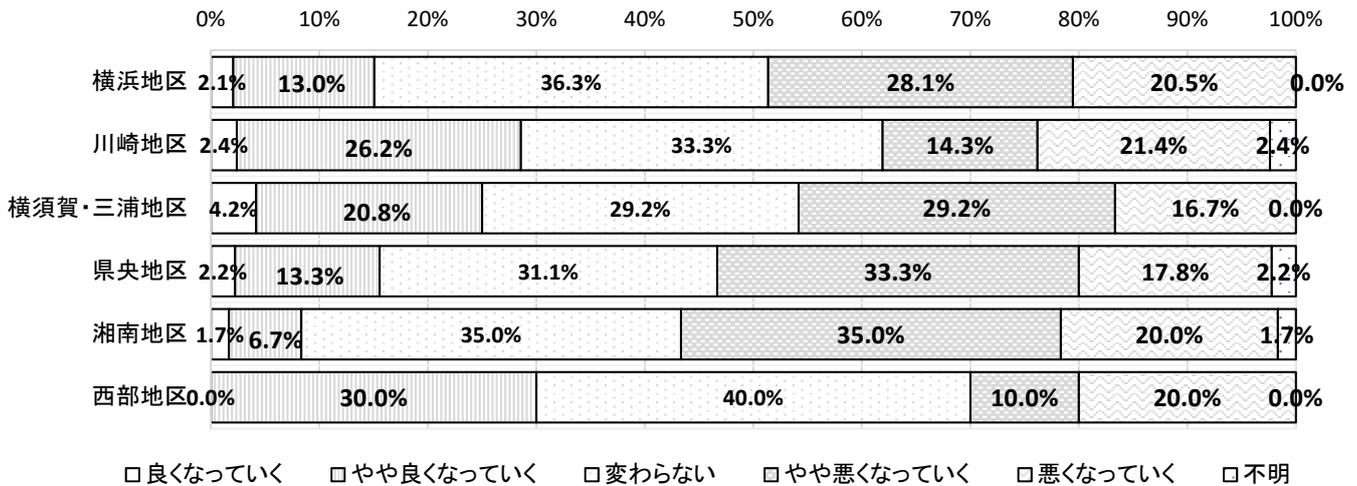


【図表 3】 商店街の地区別景況感



- 良い（繁栄している）
- やや良い（回復してきている）
- どちらとも言えない(わからない)
- やや悪い（停滞している）
- 悪い（衰退している）
- 不明

【図表4】地区別今後の活性化の見通し

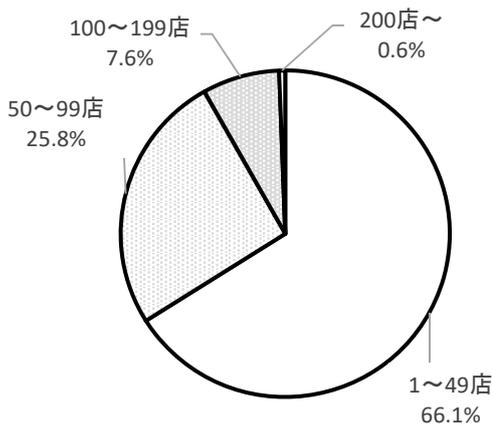


(2) 商店街会員の加入状況

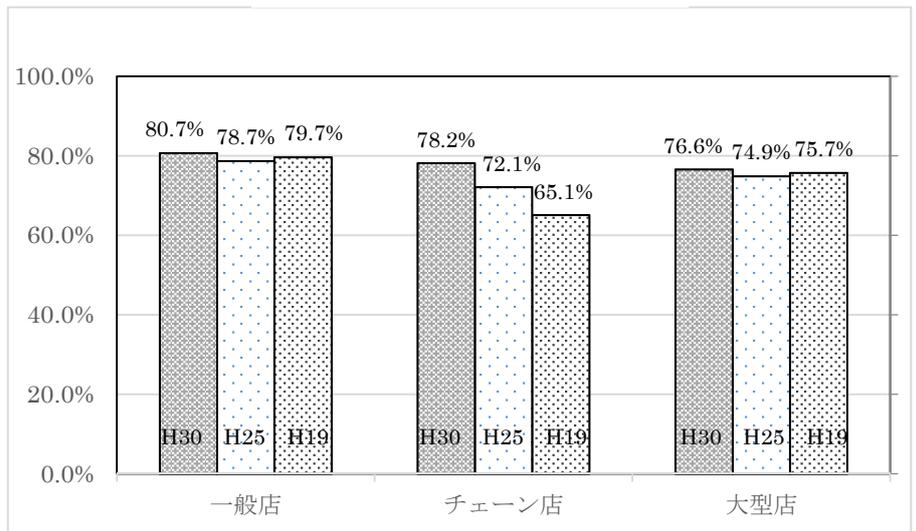
【商店街へ加入するチェーン店が増加】

- ・商店街への加入率は、会員のみで見ると84.1%、賛助会員を含めると80.4%です。
- ・商店街への業態別の加入状況では、大型店が76.6%、チェーン店が78.2%、一般店が80.7%でした。
- ・商店街への業態別の加入率を平成19年調査、25年調査との比較で見ると、大型店は伸び悩んでいます。チェーン店の加入率は上昇してきています(65.1%→72.1%→78.2%)。商店街の中でチェーン店の存在感が増していることが考えられます。

【図表5】商店街に加入している会員店舗数



【図表6】業態別加入状況



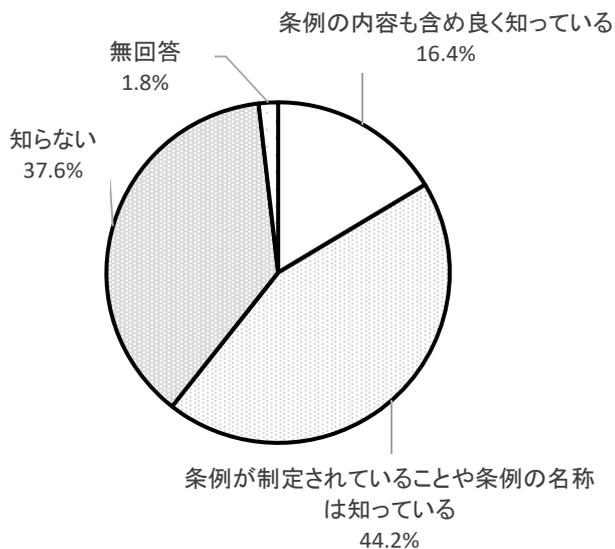
※1 商店街あたりの会員店舗数の平均(平成30年度:45.4店舗、平成28年度44.4店舗)

(3) 神奈川県商店街活性化条例について

【神奈川県商店街活性化条例を知る経路は、いわゆる“伝え聞く”形が最多】

- ・ 条例の認知度は 60.6%。そのうちのほとんどが条例の名称程度の認知で、平成 25 年度調査と比べても認知度は 5.3%下がっています。
- ・ 神奈川県商店街活性化条例を知った経緯については、「条例のリーフレットを通じて」(44.0%)が最も多いが、次いで「地元の商店街団体のメンバーを通じて」(34.0%)、「商連かながわの会議の場などを通じて」(26.5%)など、いわゆる“伝え聞く”形が多くなっています。
- ・ 条例を商店街への加入依頼に役立てているかどうかについては「どちらとも言えない」が過半数を占め(53.5%)、「役に立った」は 14.0%と少なくなっています。

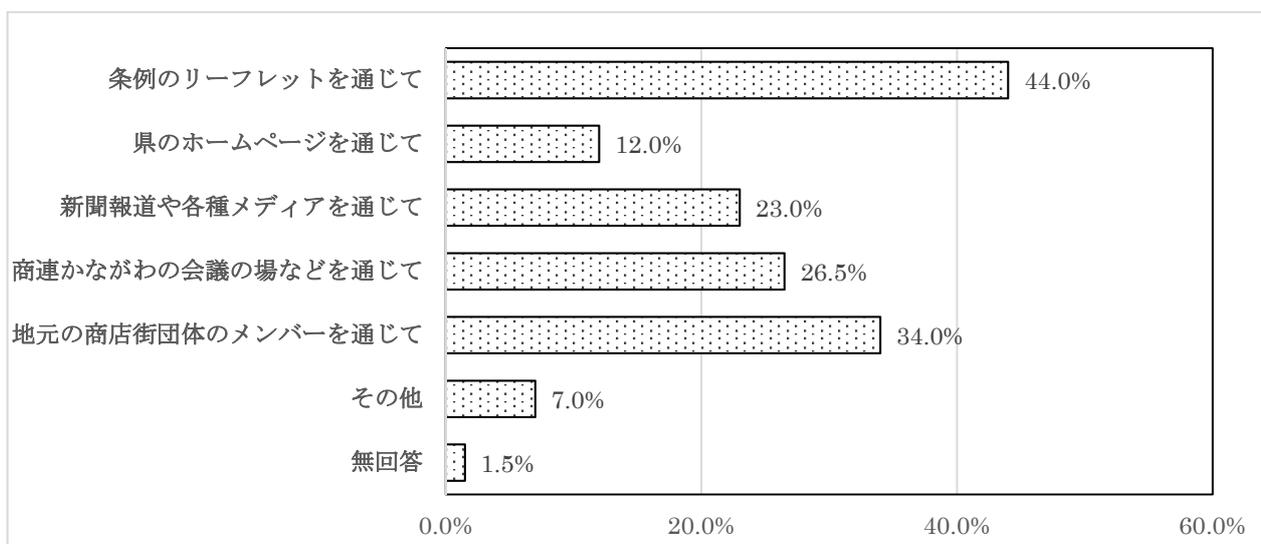
【図表 7】 条例の認知度



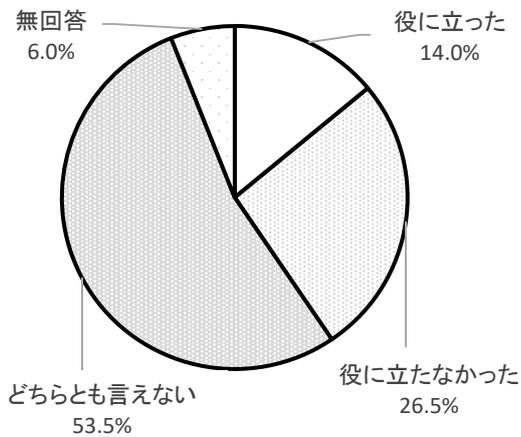
【図表 8】 条例の認知度(単一回答)

回答	平成 30 年		平成 25 年	
	商店街数	構成比	商店街数	構成比
1 条例の内容も含め良く知っている	54	16.4%	232	65.9%
2 条例が制定されていることや条例の名称は知っている	146	44.2%		
3 知らない	124	37.6%	97	27.6%
4 無回答	6	1.8%	23	6.5%
合計	330	100.0%	352	100.0%

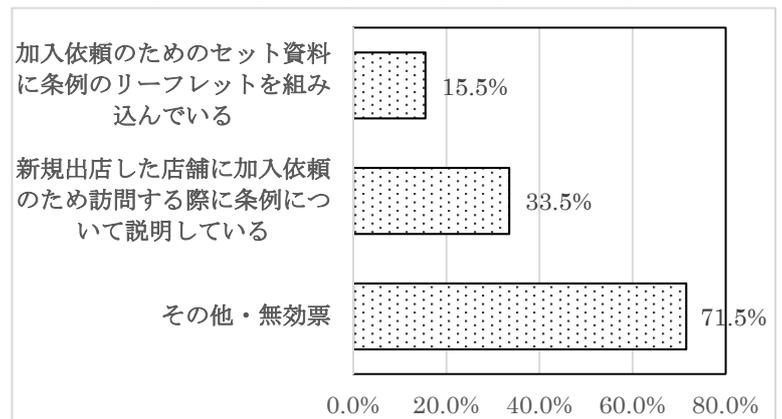
【図表 9】 条例を知った経緯



【図表 10】 条例を加入依頼に役立てているか



【図表 11】 条例を加入依頼に役立てているか

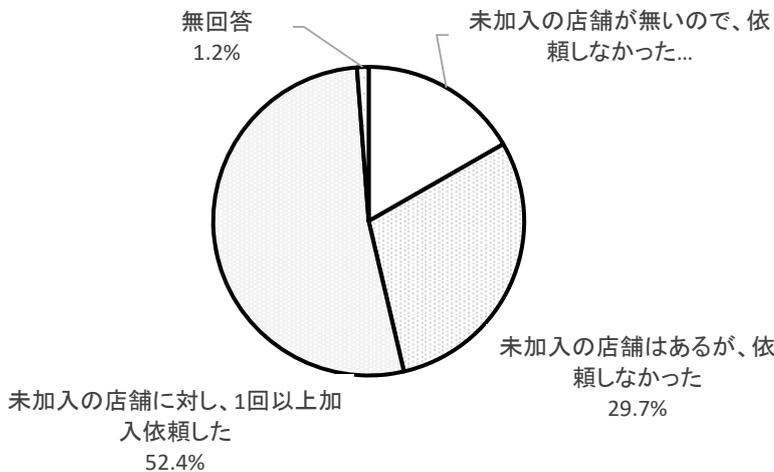


(4) 商店街への加入依頼活動

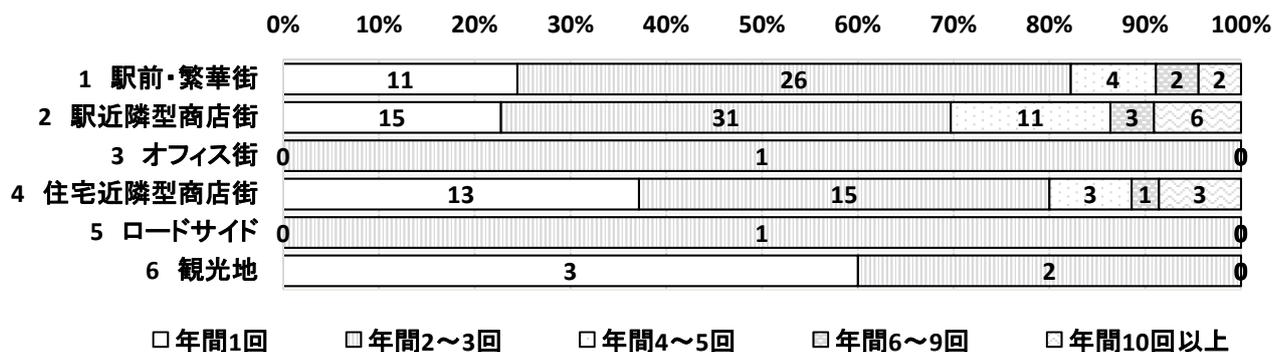
【商店街への加入依頼の回数は、「年間2回～3回」が効率的】

- ・「未加入の店舗に対して1回以上加入依頼した」という商店街は過半数（52.4%）を超えていますが、「未加入の店舗はあるが、依頼しなかった」という商店街は3割近く（29.7%）あります。
- ・加入依頼の回数は、多くても加入率が上がるわけではなく、「年間2回～3回」程度が最も効率的だといえます。

【図表 12】 未加入店への加入依頼活動



【図表13】立地環境と加入依頼の回数

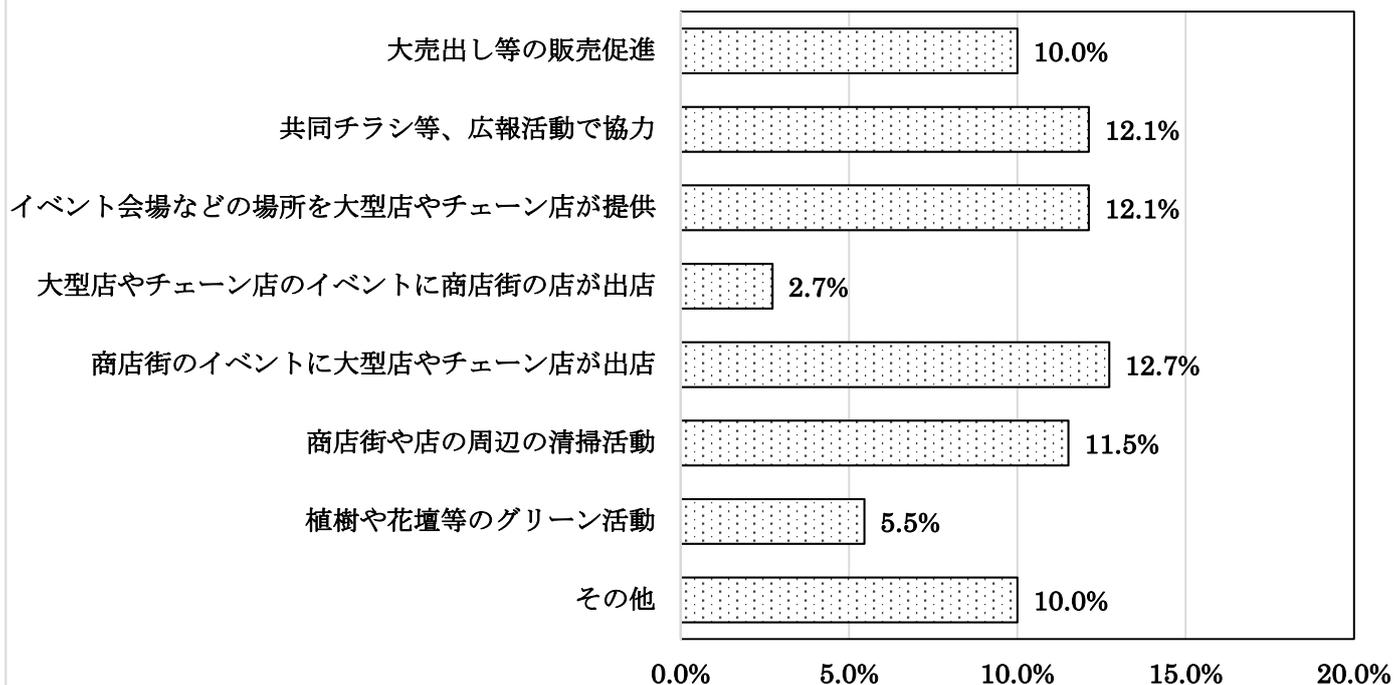


(5) 大型店やチェーン店と商店街の連携

【商店街のイベントに大型店やチェーン店が出店するのは1割強】

大型店やチェーン店と商店街の連携については、「商店街のイベントに大型店やチェーン店が出店」(12.7%)や「イベント会場などの場所を大型店やチェーン店が提供」(12.1%)することはあっても、「大型店やチェーン店のイベントに商店街の店が出店」(2.7%)することは少ないのが現状です。

【図表 14】 大型店やチェーン店が商店街と連携している活動



●その他の内容

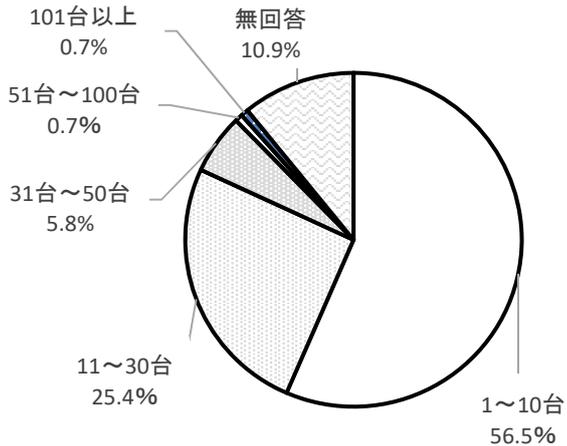
- ・ イベントの共同実施等。
- ・ イベント時の景品や広告などの協賛・協力等。
- ・ 理事会への参加や商店街加入、街路灯の経費負担、商店街イベント時に人的応援など、商店街運営・加入協力等。
- ・ 大型店と商店街のイベント日を同一にする、イルミネーションなどの共同装飾、ラジオ体操参加者に100円の商店街利用券の配布等、販促やPRの連携等。

(6) 防犯カメラの設置状況

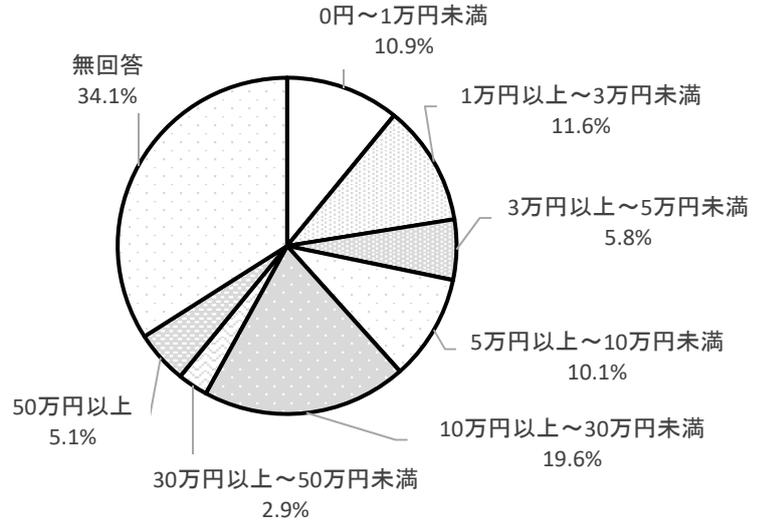
【防犯カメラの1台当たりの平均維持管理費用は、年間1.7万円】

- ・防犯カメラの商店街内設置台数の平均は、12.9台でした。(89商店街)
- ・1台当たりの平均維持管理費用は年間1.7万円(89商店街)で、その費用の内訳では「保守・メンテナンス・点検」や「電気代」、「修繕・修理代」が多くなっています。

【図表 15】 防犯カメラの商店街内設置台数



【図表 16】 防犯カメラの年間維持費用



【図表 17】 防犯カメラの年間維持費用の内訳(複数回答)

回答	回答数	構成比
1 保守・メンテナンス・点検	31	37.8%
2 電気代	25	30.5%
3 修繕・修理代	12	14.6%
4 自治会・区役所等他者管理で負担なし	9	11.0%
5 SDカード・ハードディスク交換	6	7.3%
5 保険代	6	7.3%
7 設置台等備品購入	2	2.4%
7 リース代	2	2.4%
7 電柱使用料	2	2.4%
7 街路灯等との電気代と混合払いで不明	2	2.4%
7 設置したばかりで不明	2	2.4%
12 移設費	1	1.2%
12 人件費	1	1.2%

※「商店街が設置するハード施設」の設問で「防犯カメラ」と回答した138商店街のうち費用内訳を回答した82商店街が対象。

【図表 18】 防犯カメラの年間維持費等

商店街数	89	商店街		
台数合計	1,150	台	1商店街当たり平均台数	12.9 台
維持管理費用合計	1,934.2	万円	1台あたり平均維持管理費用	1.7 万円

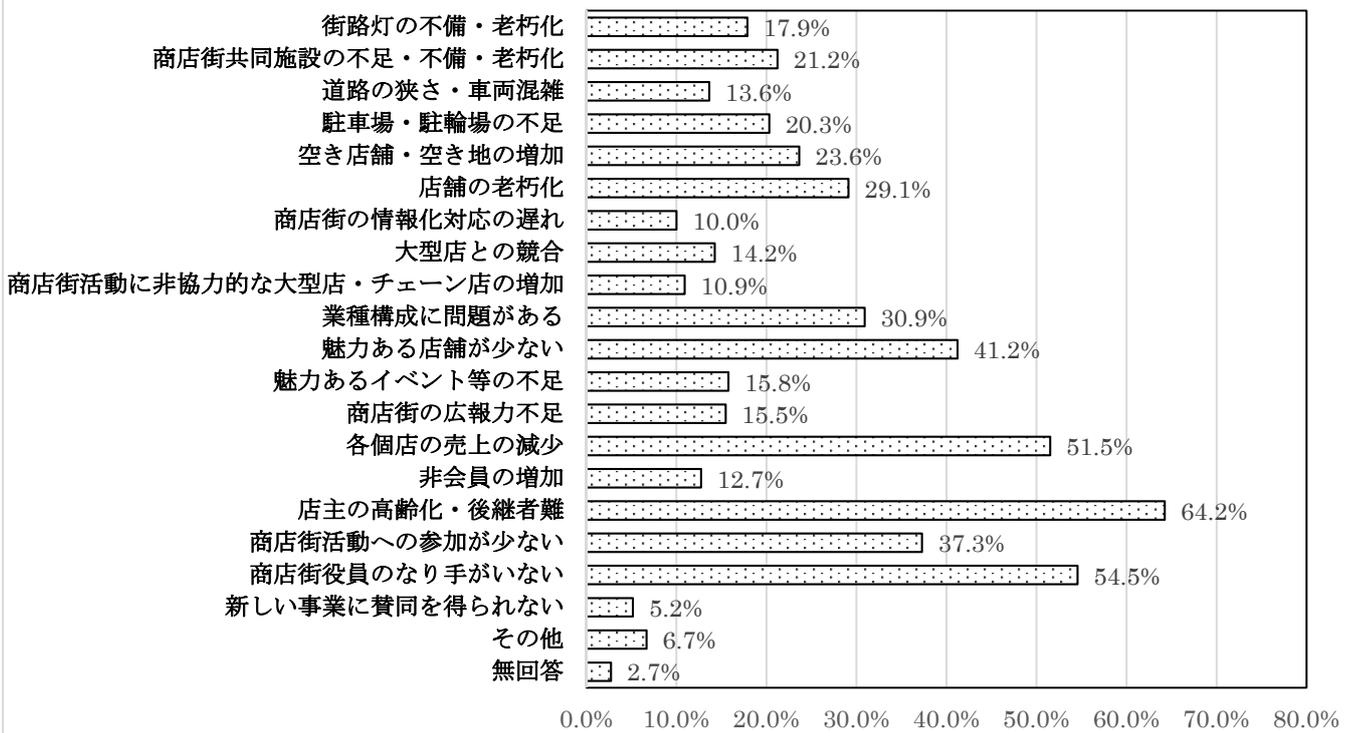
※「商店街が設置するハード施設」の設問で「防犯カメラ」と回答した商店街のうち、保有台数と費用のいずれも回答した89商店街が対象。

(7) 商店街が抱えている課題と今後の取り組み

【商店街の課題は、高齢化と後継者難、役員のなり手不足、個店の売上減少】

- ・過半数の商店街が抱えている課題は、「店主の高齢化・後継者難」、「商店街役員のなり手がいない」、「各個店の売上の減少」の3つであることがわかりました。
- ・「各個店の売上の減少」が「店主の高齢化・後継者難」を加速させ、その結果「商店街役員のなり手がいない」という商店街の現状をもたらしていることが考えられます。
- ・商店街が今後取り組んでいきたいと考えている事業としては、「プロのコツを教えるミニ講座(まちゼミ等)の実施」(19.4%)が最も多く挙げられていました。

【図表 19】 商店街が抱えている課題



【図表 20】 商店街が今後取り組んでいきたいと考えている事業

